



YNU Connect A community for alumni, students, faculty,
staff and friends of Yokohama National University

横浜国立大学 校友会 会報

vol.06

校友会会報誌「ALL YNU」第6号!



横浜で学び、
横浜から飛び立つ

横浜国立大学のブランド価値を高めるために

長谷部 勇一 横浜国立大学学長

本学は、実践的な学術の国際拠点として『グローバル・エクセレンス研究大学』を目指しています。実践とは理論だけでなく、その応用としての社会貢献を重視することです。現実社会は常に変化発展しており、特に21世紀以降の科学技術の発展、国際社会の変化、最近の新型コロナウイルス感染症の世界的流行は予測不可能な形で進展しています。このような社会に必要なこと、それは未知の課題に挑戦する研究とその実践です。現実の諸課題の解決には経済学や工

学など単独の専門分野だけでは難しく、多様な専門分野との交流や国際的な視野が必要です。本学は、One Campusに5学部と5大学院があるという強みを活かし、国際的に実践的学術を発展させることで、大学ブランド価値を高めたいと考えています。今後、学部・大学院を横断するYNU校友会とも連携しながら、イノベーションを牽引し、実践的人材の育成を進め、未来を切り開く大学にしていく所存です。YNU校友会へのご支援、ご協力のほど宜しくお願いします。



HASEBE Yuichi

1954年生まれ。1978年一橋大学経済学部卒業、1984年一橋大学大学院博士課程単位取得退学後、横浜国立大学経済学部助教授。1990年カリフォルニア州立大学パークレー校客員研究員。1996年横浜国立大学経済学部教授。2008年同大学大学院国際社会科学研究院教授



HIRUTA Shiro

横浜国立大学校友会会長
元旭化成株式会社代表取締役社長
1941年福島県生まれ。1964年横浜国立大学工学部応用化学科卒業後、旭化成工業株式会社(現：旭化成株式会社)入社。2003年代表取締役社長に就任。2010年代表取締役社長退任。

新しい価値観の確立に挑戦を

蛭田 史郎 横浜国立大学校友会 会長

新型コロナウイルスの世界的蔓延によって、大学での大きな変化に留まらず、社会の様々な局面で、大きな行動様式と価値観の変化が求められています。

本学でも、多くの教職員や学生の方々が、従来の行動様式では立ち行かなくなり、様々な困難に遭遇していると思います。

校友会は各同窓会と共に、経済的

な困難に遭遇している学生向けに、従来の活動に予定していた資金や新たな寄附金を含め、全学で計画されている学生の経済的支援を大学に協力して実行しています。

校友会関係者に留まらず、皆で協力してこの困難を乗り越え、新しい価値観の社会構造構築に大きな貢献ができる研究や活動をして行けることを期待したいと思います。



横浜国立大学基金のご案内



卒業生・保護者の皆様からのご支援が、
本学を通して、地域と世界の未来を創ります。
ぜひあたたかなご寄附を、よろしくお願いいたします。

基金の詳細は下記URLからご覧ください。
ご寄附のお申し込み、ご不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

横浜国立大学卒業生・基金室
TEL : 045-339-4443
E-mail : ynu.kikin@ynu.ac.jp
平日(月~金)9:00~17:00
<http://kikin.ynu.jp/>



横浜国立大学基金
YOKOHAMA National University Fund

2 学長・会長 メッセージ

4 コロナ対応で各学部が遠隔授業

6 校友会の活動状況紹介

【学生支援】

アプリコンテスト

地域実践アワード
「Transitional Passion
2020」

学生と若手OB・
OGとの交流会



【就職支援】

就職支援活動

「OB・OGによる
模擬面接会」開催



講演会開催報告

8 YNU卒業生からのメッセージ
～withコロナ時代に～

神居 恵悟さん(秋田県立十和田高等学校 教諭)
小松 玲葉さん(TBSテレビ 社会部記者)
萬壽 諒さん(エン・ジャパン株式会社engage事業部)
石関 裕子さん(ブランカ社会保険労務士法人代表社員)
渡部 亨さん(株式会社ニューフレアテクノロジー)



10 部活動・サークル等紹介 ・国際教育センター105
・トライアスロン部
・スポーツチャンバラ翔剣会



11 校友会からのご報告 令和元年度活動・決算報告／校友会総会のお知らせ

12 WEB会員登録／ホームページのお知らせ

学生幹事会Seagullsの活動

学生の、学生による、学生のための組織

多くの学生は学部・サークル内の関わりが中心となっています。しかし生徒と本学の更なる成長のためには、学部や社会人といった壁を越えた、学生による主体的な交流が必要となります。そこで「学生の、学生による、学生のための組織」として学生幹事会Seagullsが2016年3月に立ち上がりました。Seagullsでは、「新入生歓迎会」「YAC」「若手社会人と学生交流会」の企画・運営を学生主体で行っ

ており、学部を超えた交流とYNUのブランドアップを目指し活動しております。コロナ渦の現在でもミーティングを行い何か出来ないかと試行錯誤しております。既存企画の改善や新規企画の発案など、横国をよりよくしたいと熱い思いを持った学生たちがアウトプットできる場所がSeagullsにはあります。これを読んだあなたも我々と一緒に横国を改革しませんか？



学生幹事募集中!!

Seagullsでは校友会の活動を一緒にサポートする学生幹事を募集しています。幹事一同大歓迎ですので、ご連絡お待ちしております。

連絡先 MAIL : koyukai@ynu.ac.jp
電話 : 045-339-3177(担当:伊藤)

コロナ対応で、各学部が遠隔授業

政府の緊急事態宣言（その後、解除）を受け、横浜国立大学も神奈川県の実業支援法の対象となりました。感染拡大防止のため、学内への入構が7月1日まで原則禁止となり、春学期中の授業はすべて、「遠隔授業」に切り替わりました。様々な困難の中、通常授業と変わらぬ、またはそれ以上の教育を目指して、各学部教員が工夫をこらした遠隔授業の一端をご紹介します。

大学全体としての取り組み

学生が勉学に集中できるよう、右記の取り組みを行っています。（令和2年6月1日現在）

- 学習環境整備支援奨学金（給付型）
- ノートパソコンの貸与
- 遠隔授業実施に係る支援員（大学院生）等
- 各学部・大学院等における遠隔授業の円滑な受講に係る支援
- 緊急生活支援奨学金（給付型）
- 緊急食糧支援

美術の実技指導も、スマホカメラとPCで

教育学部 渡辺邦夫 教授

美術の授業では、PCでミーティング参加、スマホをクリップ式スマホホルダーで固定させ、スマホをカメラとして用いることにより、学生達に作品制作の様子を真上から、斜めから、横から…画角を工夫して映像配信させると絵の具やパレットや筆先等が見え、遠隔でも実技指導が出来る。

遠隔授業では、個々の学生が他者を気にせず、それぞれの課題に集中できる。

また、Teams チャット→カメラ撮影→送信で得られる画像は、動画より遙かに鮮明で、学生も個別相談になるため、相談し易く、平素よりもむしろ短時間で、的確な「個別指導」助言が出来る。

ただし、絵のモチーフを平等に揃えることや作品現物を肉眼で見られないことは、明白な問題点で、新型コロナ感染拡大の収束を待ち、学期最後の講評会では対面授業を行いたい。



対面よりも、学生が気軽に質問

経済学部 佐野隆司 准教授

「ゲーム理論」の授業は、履修者が200人近い大人数講義になることから、円滑な授業の実施と学生の通信量負担を考慮して、「授業支援システム」を通じて授業資料と音声ファイルを配布するオンデマンド型授業を実施しています。音声ファイルは、資料の朗読では眠たくなってしまいますので、ちょっとした雑談風のコメントなどを交えながら、なるべく簡潔に、柔らかい言葉で伝える

ように心がけています。また、ウェブ上のQ&Aや自由アンケート、Zoom オフィスアワーなど学生とのコミュニケーション・チャンネルを複数用意しています。大人数講義は通常の対面形式ではどうしても学生には質問しづらい雰囲気が出てしまいますが、オンラインでは比較的気軽に学生が質問できるようで、対面形式よりも学生とのコミュニケーションはむしろ増えたように感じます。



VA(バーチャル・アシスタント)と教員が会話

経営学部 森田 洋 教授

ミッションは動画や音声を使わないデータダイエット指向の講義ファイルにおいて、いかにライブ感を出すかでした。講義「ビジネスエコノミクス」ではVA(Virtual Assistant)と教員との会話形式で講義が進められます。VAは学生目線の質問や発言をします。これは過年度における学生の質問がもとになっています。

講義ファイルは3つに分割され、ファ

イル末の「小テスト」の正解の文字列が次のファイルのパスワードとして要求され、これが楽しいそうです。「VAが疑問を代弁してくれるのでついて行けています」「VAの絶妙な補足で助かっているので今後もよろしくお願いします」といった感想が届いています。(コンテンツ読み取りの)平均所要時間は30分程度(アンケート結果)、履修者数は400名強。

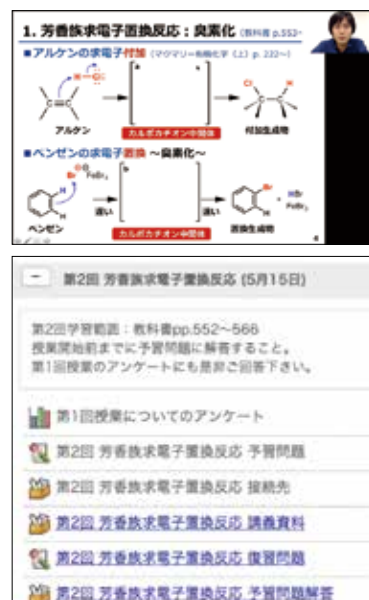


投票機能をフル活用

理工学部 伊藤 傑 准教授

化学・生命系学科、専門基礎科目「有機化学Ⅱ」(履修者約50名)では、Zoomを使ったライブ配信の遠隔講義をしています。カメラとマイクは教員のみONとし、事前に「授業支援システム」にアップロードした穴埋め資料に沿って説明するスタイルです。Zoomの挙手機能で穴埋めをメモしたことを知らせてもらい、投票機能で理解度を確かめながら進めています。また、毎

回の講義後に、授業支援システム上でアンケートを実施し、講義中に休憩時間を挟んでアンケート結果を紹介しています。学生からは、『投票機能で学生が参加できるので面白かったです』『質問を紹介したり回答したりする時間を設けるのがみんな理解が深められてとても良いと思いました』と好評です。対面講義を上手く、遠隔講義に置き換えられたのではないかと思います。



異世界とつながる

都市科学部長 川添 裕 教授

遠隔授業で心がけていることは、コロナ状況下でもネガティブにならないことだ。逆にポジティブに何ができるかを考えて思いついたのは、わがパソコンに蓄積された画像の徹底活用である。自身でコレクションしてきた江戸時代の浮世絵が数百点、明治大正期の横浜写真や絵葉書が千点程あり、多くが画像ファイルになっていて、世界各地での取材写真もある。今年はとりわ

けそれらを活用し、状況の制約を乗り越えた異世界へと受講者を導いている。ZOOMのバーチャル背景に画像を置き、自らが江戸の日本橋に入り込んでみたり(「都市日本文化史講義」)、リスボンのアルファマに身を置いたりしてみた(「自立英語」)。異世界とつながるちょっとした「遊び」も、今こそ必要と私は思っている。私が撮影した本号の表紙も、異世界とつながる横浜のメッセージだ。



学生支援

アプリコンテスト

<http://ynu.yokohama/>



スマートフォンアプリやwebアプリなどの開発力を競うYACも今年で6回目を迎えました。優勝賞金は30万円という、大きなイベントです。例年IT教育やキャリア支援を目的として開催しており、今年も教授の方々やIT業界で活躍されているOB・OGの方々、企業のスポンサーなど多くの協力をいただき、大変盛り上がりました。

今年のテーマは「セカイをつなぐアプリ」だったのですが、完成度の高い作品や、技術力のある作品が多く見られ、専門性のあ

る質問が飛び交っていました。また、「セカイをつなぐ」ことを意識したSNSや共有サービスもあり、使ってみたいと思えるものでした。受賞作品はホームページにて公開していますので、興味のある方は是非ご覧ください。

2019年度優勝は「JapanFuse」、準優勝は「CORWORDS」「くいんと」となりました。

2020年度の開催については、新型コロナウイルスの影響により、中止となりました。



地域実践アワード

「Transitional Passion 2020」



2019年度の地域実践アワードは、テーマを「Transitional Passion 2020」と題して開催しました。第1部では地域課題実習における1年間の活動発表を行った結果、「おおたクリエイティブタウン研究プロジェクト」がMVP賞に選ばれました。第2部では、海外での国際フォーラムにて「地域交流科目および地域課題実習」に関して大きな反響があったことを踏まえて、地域課題実習に携わる学生のモチベーションに関するアンケート結果を発表しました。



学生と若手OB・OGとの交流会 第5回ヨココク・ツナガル



OB・OG交流会は横浜国大出身の若手社会人と学生が、会食しながら情報交換を行う会ですが、基本的にはOB・OGが将来を考える学生に社会人生活や就職活動について教えてもらう事がメインとなっています。今回は三井物産や小松製作所といった各業界の大手やベンチャー企業の社長として活躍しているOB・OGが来てくださり、仕事の内容ややりがい、休日の過ごし方など有意義な話をしてくださりました。



就職支援活動

キャリア教育、個別就職相談、講演会等を通して、就職までの道のりをサポート

校友会は同窓会と協力して、1年次から4年次の就職までの道のりをしっかりサポートします。

けた力を社会で発揮するためには、早くから先輩や学外の方の講演や話を聞いて広く社会を知り、先輩方との交流も経験して、自分が納得した進路を目指すことが大切で

す。キャリア教育、外部講師の講演会、個別就職相談、模擬面接など多くのメニューを用意してみなさんを待っています。

劇的に変化するこの時代、大学で身に着

1年次	社会人の基本を体感する	キャリア教育	まなび座 1年次 春学期	(コロナの影響により春学期は未開催) 自分たちで問題をみつけ、チームで解決策を見出し、発表というプロセスを通じて課題解決力を鍛える
全学年	貴重な体験談等からグローバル世界への対応の基礎を学ぶ	キャリア教育	グローバル化と日本人 全学年 秋学期	異文化理解とコミュニケーションを学ぶ
2年次以上			グローバルビジネス実践論 2年次以上 秋学期	主要業界のグローバルビジネスで活躍したビジネスマンによる体験に基づく実践講座
3年次	就職活動実践に備えて	個別就職相談、模擬面接		キャリア・サポートルーム利用がお奨め、模擬面接は別途ご案内
全学年	早くから広く社会を知る	5学部と校友会共催の講演会		視野を広げ世界を鳥瞰し、将来の進路や人生を考える参考に

OB・OGによる模擬面接会開催

(校友会・同窓会・大学共催)



2020年2月1日(土)12:00より横浜国立大学教育文化ホールにて模擬面接会が学生の就職支援として開催された。

気は高かったがインターンシップと重なる学生も出た。

えたフィードバックとアドバイスがなされた。

本年は5回目で、各業界よりOB/OGがボランティアとして54名参加し、学生は87名がエントリーした。学生の事前の人

集団面接(学生5人に対して面接官が3名)と個別面接(6回)が行われ、学生は本番そのものの緊張感で受け答えをしていた。面接終了後には各面接官よりポイントを押し

終了後の学生へのアンケート調査では98%からとても有意義であったとの評価を得た。協力いただいたOB/OGに感謝いたします。

講演会開催報告

校友会は例年、5学部と共催で講演会を開催しています。

教育学部、経済学部、経営学部、理工学部、都市科学部と共催で合計5回開催。視野を広げ世界を鳥瞰し将来の進路や人生を

考える参考に、社会で活躍する方を講師に呼びます。詳細は校友会ホームページで案内します

が、学生はどの講演会も参加できます。保護者の方も参加可能です。

令和2年度の開催は未定です。開催が決まりましたら、校友会ホームページでお知らせします。

令和元年度開催実績

教育学部	講師：外山美樹氏(筑波大学人間系准教授) テーマ：教員を目指すとき、なった時に活かせる教育心理学
経済学部・横浜経済学会	講師：佐分利応貴氏((独)経済産業研究所国際・広報ディレクター/研究コーディネーター(政策史)) テーマ：誰にでもできる“社会の病気の治し方”講座
経営学部・経営学会	講師：宮田芳文氏(元資産管理サービス信託銀行(株)代表取締役副社長、元第一生命(株)常務執行役員) テーマ：君たちに伝えたい、生命保険事業の変遷とその存在意義、そして学んだ大切なこと
理工学部	講師：國中均氏(宇宙航空研究開発機構(JAXA)理事、宇宙科学研究所所長) テーマ：イオンエンジン～はやぶさ/はやぶさ2 小惑星探査から深宇宙探査船団へ～
都市科学部	講師：藪内佐斗司氏(彫刻家、東京藝術大学副学長) テーマ：伝世古 でんせいこ 古きものを新しきものへ



左：國中均氏
右：藪内佐斗司氏

～withコロナ時代に～

新型コロナウイルス感染拡大は卒業生たちの仕事の現場にも影響を及ぼしています。働き方や考え方を見直し、「コロナ」とともに生きる術を模索する卒業生たちの「今」を報告してもらいました。

コロナの時代を生き抜く生徒に

私たちの学校は十和田湖まで車で45分という、自然に恵まれた場所にあります。地域との繋がりが深く、私が担任を務める3年A組の生徒17名も、それぞれの目標に向かって一生懸命に頑張っています。

コロナ禍で3月から5月にかけて断続的に1か月半余、休校措置が取られ、体育祭、文化祭なども中止となりました。しかし、秋田県では4月中旬以降、感染者が比較的抑えられており、5月中旬以降は通常通りの授業に戻りました。6月下旬時点では生徒らの体温検査や健康観察を続けていますが、マスク着用など強い拘束は行っていません。

コロナ対応は授業や部活動のあり

方を見直すきっかけとなりました。休校中、クラウド上での資料共有やオンライン授業など様々なことにトライし、フィードバックの重要性や情報伝達手段の工夫などの学びが得られました。生徒にも教員にとっても、コロナの時代を生き抜いて行くための成長の機会となりました。



学校教員は「成長」を求める人にはやりがいのある職業だと感じています。授業、学級や部活動の運営は自分自身の創造性とやり抜く力次第で、生徒たちからのたくさんの反応に出会えます。決まった正解がない世界で、子どもの成長を感じられたときには何にも変えがたい喜びがあります。

秋田県立
十和田高等学校 教諭
神居 恵悟さん
KAMII Keigo



教育人間科学部学校教育課程(保健体育科専攻)、2017年卒業。現在、秋田県鹿角市の秋田県立十和田高等学校で「保健体育」を担当。

声を上げられない人の言葉を伝える

入社して1年間、テレビ報道に携わり、特に印象に残っているのが台風被害の取材です。台風15号、19号で甚大な被害が出た千葉県を中心に、約5か月間、被災地に通い続けました。千葉県館山市の小さな港町で自宅が被災した年配女性の思いやその後を追ったドキュメンタリーを制作しました。被災者が人生最大の困難に直面しているときに、私たちはカメラを向けます。葛藤がありますが、放送を見た地域の人から「私もあきらめずに頑張るよ」と声をかけてもらった、新鮮なとうもろこしを送っていただいたりしました。報道には、誰

かの心に想いを届ける力があるのだと感じ、涙が出ました。

新型コロナウイルスで乗客らの感染が相次いだクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の報道も担当しましたが、台風取材同様、意識したのは「弱く声を上げられない人の言葉を伝え

よう」ということでした。

就職や将来を考える際、向き不向きで悩むこともあると思います。そういう時には、「なぜ、自分がその仕事をしたのか」を親しい人に胸を張って語れるかと考えてみてください。きっとその先に、答えがあるはずですよ。



TBSテレビ 社会部記者
小松 玲葉さん
KOMATSU Akiha

教育人間科学部人間文化課程、2019年卒業。情報番組「ひるおび!」などを経て、現在、社会部記者。

オンライン時間、効率よく

私にとって今回のコロナの影響は、改めて日々の時間の使い方や自身の考え方を見直すきっかけとなりました。業務中おいての会議の事前準備・事前共有の重要性や、何か確認する際にも自分の中で要点を整理してから相手に伝えるなど、オンラインという限られた時間を効率よく使うためにはどうしたらよいかを考えていくことで、オフライン時にも無駄だったことに気付かされています。

また、情報を正しく理解すること

の重要性も感じております。情報過多になっている現代において、今の自分に必要な情報が何で、そのデータから何を読み解き、どう行動するか。周りがどうだからとか、こうしろと言われたからではなく、自分で考えることが大切です。そのためにも日々の小さなデータだけに一喜一憂するのではなく、事実は事実として捉え、どんな環境下でも自分が何をすべきかを見失わないよう日々仕事や自己研鑽に取り組んでおります。



エン・ジャパン株式会社
engage事業部 事業企画

萬壽 諒さん

BANJU Ryo

2017年経済学部卒業。NICに入社し法人営業をメインに幅広い業務を経験後、現在はエン・ジャパンの新規事業engageにて事業企画として従事している。

働き方改革に弾み

今年は、新型コロナウイルスが、日本も含め、世界中で猛威をふるっています。緊急事態宣言中は、休業やテレワークを余儀なくされた人も多かったのではないのでしょうか。

もともと、日本人は働きすぎであり、ワークとライフのバランスを取るべきだという考えから、昨年、働き方改革の関連法案の一部が施行されました。これから徐々に日本人の働き方が変わっていくだろうと思っていた矢先に、コロナウイルスの直撃です。私に関与している中小企業の多くも、今

まで考えたこともなかった在宅勤務や時差出勤、短時間労働、ローテーション出勤、オンライン会議、チャットでの業務指示や相談など、さまざまな制限の中、働き方を改革せざるを得ませんでした。慣れないテレワークに最初は戸惑いも見られましたが、日本人は優秀です。すぐに出勤中と変わらない業務パフォーマンスを発揮するようになりました。

コロナ後、日々の通勤や無駄な業務が見直され、よい意味での働き方改革が望めるのではないかと考えています。



プランカ社会保険労務士法人代表社員
特定社会保険労務士

石関 裕子さん

ISHIZEKI Hiroko

2002年経済学部卒。全日本空輸株式会社国内線客室乗務員、2011年に石関社会保険労務士事務所開業、2017年にプランカ社会保険労務士法人として法人設立。

大学で培った思考力は仕事の土台

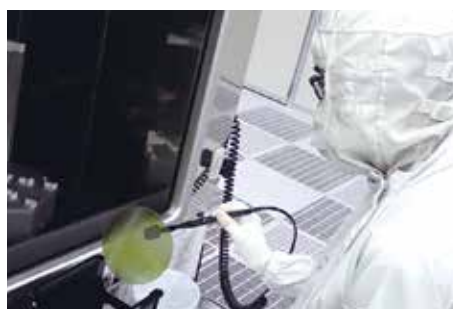
私はパワー半導体を製造するための半導体製造装置を製作しています。今は、プロセスエンジニアとして、ガス流量やヒーター温度などの成膜条件を調整し、高品質な膜を作製するための研究開発を担当しています。

コロナ禍において、週2-3日はテレワークとなりました。自宅からリモートで装置を稼働させられないため、パソコンの計算ソフトを使って装置のログ解析を行い、蓄積されたデータを基に、装置に使用している部材の寿

命を予測しました。この結果を設計担当やソフト担当とレビューすることにより、装置の性能向上につなげました。

大学や大学院での実験や研究で培った思考力は、入社後も研究開発の仕

事の土台となっています。身近な自然現象や物理現象に興味を持って、「なぜ、この結果になるのだろうか？」と答えにたどり着くまでのプロセスを重視することが大切です。



株式会社
ニューフレアテクノロジー

渡部 亨さん

WATANABE Toru

2017年理工学部化学・生命系学科卒、2019年大学院工学府機能発現工学専攻修了。株式会社ニューフレアテクノロジー入社2年目。



大学に課外活動団体として届けている団体は、42の体育系サークルと51の文化系サークルです。どのサークルも積極的に活動をしています。

国際教育センター105

<https://ynu-isc-room105.jimdofree.com/>



国際教育センター105は横国の留学生を相談や交流、イベントの開催などを通して全般的に支援している組織です。国際戦略推進機構長公認のもと、現在39名で活動しています。

近年国際意識を持つ日本人学生が増えており、彼らの「学内留学」の場としても活用されています。またコロナ対応としては、留学生に大学の重要な情報を学生目線から伝達することで、大学にとって一定の役割を果たせていると思います。

今後も常に留学生に寄り添い支援していくことで、横国の益々のグローバル化に貢献し続けていきたいと考えています。



トライアスロン部

<https://perigoperigoperigo.wixsite.com/ynutriathlonclub>



当部は1992年に設立しました。私たちは主にオリンピックディスタンス(スイム：1.5km、バイク：40km、ラン：10km)という距離に出場しています。

昨年度は日本学生トライアスロン選手権で団体10位という成績を収めました。また日本最高峰の大会、日本トライアスロン選手権に当部から1名出場しました。

トライアスロンはきついというイメージがあるかもしれませんが、しかしそれを乗り越えたゴールの瞬間は格別なものです。

これからも高みを目指し、トレーニングを積んでいきたいと思います。ぜひ各種SNS等で私たちの活動をご覧ください。



スポーツチャンバラ翔剣会

<https://shoken-web.jimdofree.com/>



私たちスポーツチャンバラ翔剣会は2015年に創部し、今年で5年目と体育会系の中では新しい団体です。新しいながらも現在部員は50名ほど在籍しています。スポーツチャンバラとはチャンバラ遊びをスポーツ化したものです。ルールはエアソフト剣という空気が入った剣を相手の体に先に当てたら勝ちというシンプルなものとなっています。昨年の活動として、団体戦では全国学生大会で全国3位、また、個人戦においても多数の入賞者を出しています。この機会にHP、各種SNSを通して我々の活動を知って頂けると幸いです



部活動支援

学生団体表彰

陸上競技部、硬式野球部、水泳部、モダンジャズ研究会、モダンダンス部、スポーツチャンバラ翔剣会、準硬式野球部

スポーツ関連設備等整備

体育館地下トレーニングルームに筋力トレーニング器具を設置

令和元年度活動・決算報告

令和元年度事業報告および決算関係書類については、令和2年5月21日(木)に校友会監事4名による監査で、「適切である」との報告を受け、同年6月4日(木)にメールによる理事会および評議員会において承認決議されました。
令和元年度の主な活動は下記のとおりです。

1. 入学時(新入生向け)事業

- (1) 新入生歓迎会
4月17日(水)第1食堂において学生幹事会の企画による新入生歓迎会を開催。
新入生及び学長、校友会会長、学部長、各同窓会長等を含む90名(内、新入生68名)が参加
- (2) 横浜港ナイトクルーズ【同窓会との合同イベント】
5月23日(月)学生、留学生、保護者、大学関係者等を含め160名が参加。横浜港の夜景と同地区の歴史についての詳しい説明もあり大好評。
- (3) 新入会員用ノベルティを作成
会員証交付と同時にノベルティ(ロゴ入りバインダー)を贈呈。
- (4) 令和2年度入学生向け「校友会・同窓会のご案内」を作成、送付。
- (5) 在学生、令和2年度新入生の保護者に学事歴入りカレンダーを作成、送付。

2. 広報活動事業

- (1) 校友会会報誌「ALL YNU」第5号の作成、送付。
- (2) 校友会・同窓会のご案内(令和2年度入学生・保護者向け)の作成・送付。

3. 学生活動の支援事業

- (1) キャリア教育支援
1年次生 春学期 まなび座
全学部受講対象科目、市村教授担当
- (2) グローバル人材育成支援
① 2年次生以上 秋学期「グローバル化と日本人」
② 2年次生以上 秋学期「グローバルビジネス実践論」
- (3) 地域課題実習支援
学生自ら地域課題を発見し、地域と連携しながら課題解決に向かうプロジェクトを支援。18プロジェクトに対し各20,000円を援助。
- (4) 学部との共催講演会
5学部と共催の講演会の開催：学部生にとってより身近な興味深いテーマで講師を学部と校友会が共催で講演会を実施
- (5) 国際交流事業支援
① 海外教育交流活動支援(新規事業)
② インターナショナルウィーク支援
③ 海外インターンシップ支援(新規事業)
④ 派遣留学生支援(新規事業)
⑤ 異文化体験プロジェクト(新規事業)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
【収入の部】			
基本財産運用収入			
・基本財産利息収入	0	0	0
会費収入			
・新入会員 会費収入(学部生・大学院生)	28,900,000	28,350,000	△ 550,000
雑収入			
・寄附収入	800,000	200,000	△ 600,000
・受取利息収入		378	378
・その他雑収入	900,000	1,186,595	286,595
雑収入計	1,700,000	1,386,973	△ 313,027
当期収入合計(A)	30,600,000	29,736,973	△ 863,027
【支出の部】			
事業費			
・入学時関連事業経費	3,610,000	5,488,643	△ 1,878,643
・広報活動事業経費	2,050,000	1,862,957	187,043
・学生活動支援事業経費	9,920,000	9,311,824	608,176
・全会員対象事業経費	3,000,000	2,568,618	431,382
・大学支援事業経費	6,200,000	6,248,790	△ 48,790
事業費計	24,780,000	25,480,832	△ 700,832
管理費			
・事務局諸経費(※1)	1,100,000	1,324,983	△ 224,983
・会員管理費	900,000	641,771	258,229
		0	
管理費計	2,000,000	1,966,754	33,246
予備費	1,000,000	0	1,000,000
予備費計	1,000,000	0	1,000,000
当期支出合計(B)	27,780,000	27,447,586	
当期収支差額(A)-(B)=(C)	2,820,000	2,289,387	
前期繰越金(D)	21,740,168	21,740,168	
次期繰越金(C)+(D)	24,560,168	24,029,555	△ 530,613

※1 事務局諸経費には当期減価償却費111,262円を含む。

- (6) スポーツ支援プロジェクト
① 学生団体表彰(新規事業)
平成30年度に謙虚な成績を収めたスポーツ等7団体に副賞(活動奨励費)100,000円を贈呈
② スポーツ関連設備等整備(新規事業)
トレーニングルーム内の筋力トレーニング機器等の整備
③ 部活動激励会
4月26日(金)第一食堂において、学長主催の課外活動団体激励会開催。約100名が参加。
- (7) アプリコンテスト(第6回YAC)
学生が開発したアプリを審査し優勝1チーム、準優勝2チームを表彰し、賞金を授与。
- (8) 就職支援活動【大学、同窓会との合同イベント】
令和2年2月1日(土)3年次生を対象に、現役OB/OGによる模擬面接会を開催。
- (9) YNU横浜経営者の会連携講義(新規事業)
令和元年度秋学期から2年次生以上を対象に「経営者が語るこれからの企業戦略と若者へのメッセージ」を新規に開講。
履修登録学生数：217名。
- (10) 学生用情報伝達モニター整備(新規事業)
- (11) 美術館・博物館キャンパスメンバーズ
国立美術館(東京国立近代美術館、国立西洋美術館、国立新美術館)及び東京博物館キャンパスメンバーズを学生が無料で利用できるよう年会費を支援。

※横浜国立大学校友会総会のお知らせ

「横浜国立大学校友会総会」は、例年「横国Day」(ホームカミングデー)にあわせて開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度横国Dayが中止となったため同時開催を中止とし、令和2年度横浜国立大学校友会総会は、ホームページにおいて報告事項を掲載し、質問と意見を受ける方式で実施することといたしました。
詳細につきましては、追って校友会ホームページにてお知らせいたします。

横浜国立大学校友会事務局

横浜国立大学校友会 ホームページ・facebookのご案内



横浜国立大学校友会では、会員登録の有無にかかわらず、会員の皆さま方へ校友会の各種活動、ご案内をお知らせするためにホームページを開設しています。総会・理事会・評議員会の議事掲載をはじめイベント案内なども行っておりますので、下記アドレスをぜひご覧ください。(今後発行する本会報についてもPDFで掲載していく予定です)



▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>



横浜国立大学校友会のFacebookページが開設されました。今後は、・校友会のイベント情報・校友会の活動記録・学生生活の様子などを投稿していく予定です。横浜国立大学の学生から保護者の方々、卒業生や教職員の方々など、多くの方に御覧いただきたく、ページのいいね！をどうぞよろしくお願いいたします。



▶ <https://ja-jp.facebook.com/ynu.connect/>

横浜国立大学校友会 会員サイト 登録のお願い



横浜国立大学校友会では、会員の方々に会員システムへのご登録をお勧めしています。ご登録いただくことで、会員間での会員検索・連絡、校友会からの各種イベントの案内を受け取ることが可能となります。これから横浜国立大学校友会、ひいては横浜国立大学を盛り上げていくためにも、在学生、卒業生の皆さまのご登録をお待ちしています。

▶ <https://koyukai.ynu.jp>

会員サイトへのアクセスは、
校友会ホームページのグローバルメニュー
「会員サイト」→
右メニュー「サイトへのリンク」を
クリック



※既に会費をお支払いになられている会員(新1年生)につきましては、校友会事務局で登録を済ませております。会費お支払いの際、払込票に記載いただいたメールアドレスにID・パスワードが届いていない新入生会員の方については、お手数ですが、下記校友会事務局まで至急お問い合わせください。また、登録内容に変更が生じた場合、随時会員サイトにログインいただき、登録内容の修正を行ってください。

横浜国立大学校友会 会員証について



横浜国立大学校友会事務局では、現在会員証を配布中です。会費をお支払い済みの会員(在学生)でまだ受け取られていない方は、下記地図の事務局まで学生証持参の上、お越しく下さるようお願いいたします。

横浜国立大学校友会 会報 ALL YNU 第6号

2020年8月7日発行

- 本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます。
- 横浜国立大学校友会や本会報についてのお問い合わせは下記までお願いします。

編集・発行 横浜国立大学校友会
連絡先 横浜国立大学校友会 事務局
TEL : 045-339-3177 FAX : 045-339-3178
e-mail : koyukai@ynu.ac.jp

▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>

表紙写真：大さん橋より山下ふ頭方面を望む(撮影：川添 裕)

本部棟1階に
あります

校友会事務局
(本部棟1階)

